



菊 外 評 委 第 5 号
平成 30 年 12 月 18 日

菊池市長 江頭 実 様

菊池市総合計画外部評価委員会
会 長 上 野 眞 也

第 2 次菊池市総合計画前期基本計画の評価について（答申）

平成 30 年 11 月 8 日付け、菊企第 429 号により本委員会に諮問のありました「第 2 次菊池市総合計画前期基本計画の評価（市が実施した平成 29 年度の施策評価）」について、審議した結果、次のとおり委員会としての意見を取り纏めましたのでここに答申します。

平成 30 年度
菊池市外部評価委員会
答 申 書

平成 30 年 12 月
菊池市外部評価委員会

1. 総評

第2次菊池市総合計画の3年目の評価としては、将来像の実現に向けた各施策の取り組みが、概ね順調に進捗していると評価できる。特に、交通安全・防犯等対策の推進や防災・消防体制の整備と充実においては、市民の防災意識の醸成や防災体制の整備などに成果が出ている。

引き続き、評価を通して抽出された課題を改善に結びつけ、より効果的な施策に取り組むとともに、下記の点に配慮し取り組まれることを期待する。

- 米食味コンクールの取り組みによって、菊池米のブランド化が図られ、菊池米のPRにつながっている。今後は、畜産や酪農などの産物についてもPRを行い、消費拡大を図られたい。
- 小学校期から中学校期にかけての学力低下問題については、子どもへ学習を促すだけでなく、保護者や家庭に対する啓発と理解を促し、学力向上に努められたい。
- 小学校運動部活動の社会体育移行については、子どもや保護者が円滑に社会体育に移行できるように、細やかな支援に取り組まれたい。
- 国際交流については、現在の友好都市との交流に限らず、教育旅行の受入れなど新たな外国人との交流のあり方についても検討されたい。
- 審議会等への女性登用が進んでいないので、市役所の女性活躍推進も含めて、戦略的に進められたい。

2. 各施策の評価結果

外部評価については、第2次菊池市総合計画前期基本計画（平成27年度～平成29年度）に掲げる前期3年で「目指す姿」に沿って、以下のとおり評価した。

◆10の目指す姿「1 儲かる農業と癒しの観光のまち」

【政策企画部、経済部、建設部】

■ 個別意見

○食味コンクールを通じて、菊池米のPRができています。

○観光について、行政主体で様々な取組ができています。一方で、最近では、NPO法人などの民間主体で取り組み、人気となっているコンテンツもあり、今後は民間主体の取組をもっと活性化させる必要がある。

○イデベンチャーは、とても人気があり利用者からも好評を得ている。一方で、地元の人が利用できない状況にあるため、地元の人も含めて、多くの人が利用できる仕組みを検討すること。

○菊池市の牛乳の生産技術は高く、高品質であるので、酪農についても積極的にPRすること。

◆10の目指す姿「2 活力ある商工業が生まれるまち」

【経済部、建設部】

■ 個別意見

○商店街の空き店舗に新規開業が増え、温泉街とのつながりができれば、散策する人が増え交流人口の増加にもつながると思うので、戦略的に取り組む必要がある。

○市街地には樹齢数百年を誇る樹木などの地域資源があるので、そうした地域資源をもっと観光に活用してほしい。

◆10の目指す姿「3 人を育む文教豊かなまち」

【政策企画部、教育委員会】

■ 個別意見

○菊池市内の3つの高校の取組み等について、チラシや広報紙に掲載し、市民に周知することは高校の情報を知るうえでとても良い取組みである。

- SNS を使ったいじめ等によって、学校を辞める子どもがいたので、学校等と連携しながら対策を講じる必要がある。
- 中央図書館が新しく開館したが、子どもたちの利用が多く賑わっていると思う。しかし、他の地域の図書館は小さく、図書数も少ないので、図書の入れ替えを行うなど、市内全体の図書環境の充実に取り組んでほしい。
- 学校給食費の徴収方法が地域によって異なり、給食費の徴収が保護者の負担になっているため、口座振替など、今の社会に合った徴収方法を検討すべきである。
- 生涯学習センターでコーヒーを提供したイベントはとても良かった。今後もこうした催しを継続し、賑いを作り出してほしい。
- 学力については、特に小学校から中学校へ進学する際の格差をいかに埋めるかが課題であると思う。学力向上には、当然勉強も大事だが、親や家庭に対する取組みを充実することも重要である。

◆10の目指す姿「4 魅力ある地域を育むまち」

【政策企画部、教育委員会】

■ 個別意見

- 成果指標の市民提案型協働事業については、市担当部署とのマッチングが必要であるなどハードルが高く、事業化へつながらないのであれば、スキーム等を見直すこと。
- 小学校運動部活動の社会体育移行については、指導者の確保やクラブチームの情報収集など、悩みを抱えている保護者がいるため、そうした悩みを相談できる窓口を設置し不安解消に努めること。
- 国際交流について、従来の友好都市との交流に限らず、今後は外国人旅行者との交流や教育旅行の受入れなど新たな交流のあり方を検討すべきである。

◆10の目指す姿「5 支えあう安心社会のまち」

【健康福祉部】

■ 個別意見

- 児童虐待については、殴る、蹴るといった身体的虐待だけでなく、子どもへの無関心やネグレクトなど重要な問題もあるため、そうした問題も注視する必要がある。
- 菊池市で「きくち体操」を取り入れれば、健康増進につながり、話題にもつながると思う。

◆10の目指す姿「6 持続可能な循環型社会のまち」

【市民環境部、経済部、農業委員会】

■ 個別意見

○七城地区の硝酸性窒素濃度の問題については、身体や日常生活にも支障が出る可能性があるため、浄水器の設置だけでなく、農業と環境保全の両立を図られたい。

○畜産バイオマスエネルギー転換システムの導入について、菊池市は畜産が盛んである一方で、家畜ふん尿の問題があるので、そうした処理にも上手く活用してほしい。

◆10の目指す姿「7 安全で安心して暮らせるまち」

【総務部、健康福祉部、建設部】

■ 個別意見

○子どもたちの下校を知らせる放送は、子どもたちの防犯にもつながる良い取組である。

◆10の目指す姿「8 住みやすさ日本一のまち」

【政策企画部、建設部、水道局】

■ 個別意見

○移住定住の取組みは、移住希望者への就業支援や創業支援だけでなく、継業支援にもより力を入れることで、人口増加だけでなく、事業等の跡継ぎ不足の解消にもつながると思う。

○べんりカーやあいのりタクシーについて、住民のニーズを把握し、利用者の利便性向上や地域の生活交通の確保に努めること。

◆10の目指す姿「9 パートナリツプのまち」

【政策企画部、総務部】

■ 個別意見

○審議会等への女性登用率が24.1%というのはとても低いので、戦略的に進めること。

○人権・同和問題について地域で考える、ふるさと懇談会は良い取組みだと思うので、周知をもっと徹底する必要がある。

◆10の目指す姿「10 行財政改革による健全なまち」

【政策企画部、総務部、市民環境部】

■ 個別意見

○財政運営について、今後消費税率の引き上げが予定されているため、経費削減に計画的に取り組んでももらいたい。

3. 外部評価委員会委員名簿

※外部評価委員会は、下記の7名（学識経験者1名、各種団体等6名）で構成

役職	氏名	任期	備考
会長	上野 眞也	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	熊本大学 教授
委員	栗原 康敏	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市農業再生協議会
委員	松野 浩一	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市商工会 事務局長 菊池観光協会 理事
委員	古津 理恵	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市子ども会育成協議会
委員	右田 美喜江	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市民生児童委員連合会
委員	山口 法子	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市PTA連絡協議会
委員	橋本 誠也	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	熊本県県北広域本部 振興課長